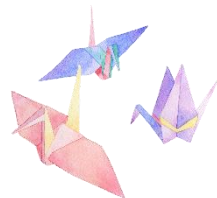


活動 レポート①

周南おりがみ研究会



会長 松田 邦夫さん
「日刊新周南」掲載写真

1. 活動内容を教えてください。

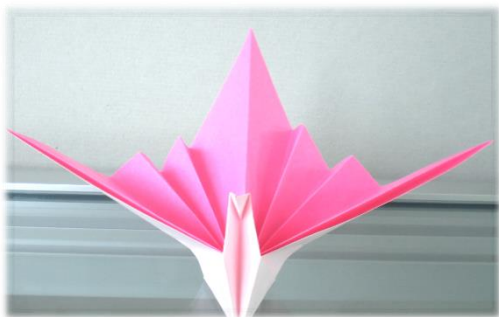
毎月例会を開催し、研究、発表、交流をしています。また、各種イベントへの参加や作品展も開催しています。研究会のメンバーには小学生～75歳の方まで、幅広い世代の方がいらっしゃいます。折り紙は世代を超えたコミュニケーションツールです。生活に身近な折り紙を皆様に教え喜んでいただいています。活動をとおして多くの人々と交流できることがやりがいだと感じています。

2. 活動を始めたきっかけや経緯を教えてください。

30年前、母親から昔ながらの伝承折り紙を教えてもらったことがきっかけで折り紙に興味をもちました。初めて折った折り紙は「祝いつる(ハッピーバード)」でした。その後、テレビ番組や新聞などが「折り紙は発明の原点である」ということを伝えだし、さらに興味をもちました。折り紙の技を最新技術に応用しようという研究が国内外で進められており、特に、米国が研究費を投じ、技術革新につなげようとしている状況も知り、折り紙を啓蒙したいと思い、2014年10月に研究会を発足しました。



作品展では色とりどりの折り紙を展示されています
「日刊新周南」掲載写真



尾の部分の広がりがとてもきれいな
祝いつる(ハッピーバード)

3. これから活動していきたいことや、取り組みたいことはありますか。

「長方形の紙による折り紙」を増やしていきたいと思っています。折り紙は正方形の紙でないと折れないと思われている方もいるかもしれませんが長方形でも折り紙を折ることができます。新聞紙や、チラシなど長方形の紙は生活の身近にあるため、いつでも折り紙を折ることができるというメリットもあります。

4. 皆さんに伝えたいことをどうぞ！

折り紙の3つのメリットをお伝えしたいです。

① 「会話のツール」になる
子供と大人が折り紙を通じて会話ができる

② 「メンタルヘルス」ができる
子供は前頭前野(記憶装置)を活性化、
高齢者は認知症予防につながる

③ 「国際交流」ができる



支援センターにも松田さんが折られた
素敵な折り紙を、たくさんいただきました♪

6月24日(日)「第41回周南おりがみ研究会例会」を開催。
詳細は支援センターHPへ。

◆周南おりがみ研究会◆
TEL 080-1942-9222(松田)
メール kuniom1119@outlook.jp

活動 レポート②



ツナカン



1. 活動内容を教えてください。

徳山商店街で「とくやま夢横丁」というイベントを開催しています。しかし、このイベントを行うことが目的ではなく、人と街をつなげるための活動の一環として、現在はまず取り組みの一步として、この「とくやま夢横丁」を行っています。



代表 石田 俊介さん



2. 活動を始めたきっかけや経緯を教えてください。

元々私は「徳山あちこちマルシェ」というマルシェイベントの実行委員で、商店街の店舗さんへの協力をお願いしたりする、店舗担当でした。その中で、街中の活性化や、このようなイベントに関わりたいという店主さんも増えてきて、その輪を繋げていきたいと考える人も多くなったので、「徳山あちこちマルシェ」と並行し、既存の枠にとらわれずに繋がりたいという人を繋げ、増やしていくためにツナカン（周南市のまちを繋げ感動・感謝を広げる会）を発足しました。

3. 「とくやま夢横丁」とはどのようなイベントですか？

街で立ち飲みをしたら面白いんじゃないかという声があり、それを中央街で出来たらということで、企画はスタートしました。

実際にお酒をテーマにして賑わっているイベントも各地で行われているので、自分たちも好きなお酒を通じて、商店街を知ってもらうことを目的にしています。中央街のレトロな雰囲気を感じてもらえたり、新しいお店を発見できたというような声もいただいていますし、私たちの取り組みを通じて街を知ってもらうきっかけになればこれほど嬉しいことはありません。



空き店舗を魅力的に演出したフォトスポットも！

4. 皆さんに伝えたいことをどうぞ！

今は、商店街を中心とした活動になっていますが、商店街だけではない、いろいろな地域や世代、人との繋がりを広げるイベントを開催していきたいと考えています。ぜひいろいろな方に遊びに来ていただいて、新しい繋がりを発見してもらえたらと思います。



次回は
6月23日(土)
7月28日(土)
で開催予定！
詳細は支援センターHPへ。

◆ツナカン(周南の街を繋げ感動・感謝を広げる会)◆
TEL 090-8502-2894 (石田)